



校報

# 水糸者

No. 1309

元年度・第168号

## 6年生 ありがとう・おめでとう！ ～笑顔と笑いと涙の「6年生を送る会」となりました～

前日の総理による突然の「要請」に、動揺と不安が渦巻いた28日、予定通り6年生を送る会を行いました。

来週から臨時休校となり友達や先生とも会えなくなる心配と不安の気持ちは教室に置き、種小っ子は6年生に感謝を伝えるために、心を切り替えて体育館に集合しました。

いろんな思いが詰まった今年度の『6年生を送る会』は、今在校生からの「感謝とエール」を込めた出し物に、たくさんの笑いと涙があふれた感動いっぱいとなった温かい時間となりました。



会場の体育館には、今までの6年生への感謝とお礼の気持ちが込められた掲示物が飾られていました。



開会の時は笑顔だった6年生が、退場の時には…



### 6年生の笑顔！



下級生の出し物を笑顔で観る姿、下級生の出し物を一緒に楽しむ姿…。どの子の笑顔もとっても輝き素敵でした。下級生の楽しい出し物の連続に、6年生全員が笑顔になりました





…涙・涙・涙…



会も後半となり急にしんみりし始めた6年生。下級生からの寄せ書きをもらい、涙する6年生。6年生の退場を涙しながら見送る1年生。退場後に感極まって涙があふれた6年生。涙・涙・涙…



28日、6年生を送る会当日の朝、6年生の教室をのぞいたらあちこちで輪になり何やら子ども達が話をしていました。泣き顔で話している子や興奮して大声で話している子もいました。私の姿を見つけた男の子が教室から飛び出し「校長先生、卒業式をしたいです!」と、目に涙をいっぱい浮かべながら訴えてきました。その様子を教室にいた全ての6年生が凝視していました。校長ひとりの判断・決断ではどうしようもない事態のために、私はその子を前にして、何も言えなくなり無念さと無常さ、無力さに目頭が熱くなりました。

縦割り班清掃の時、いつも下級生に優しく接して教えていた6年生の姿、全校縦割り班遊びの時、下級生の意見を上手に吸収しみんなが楽しめる遊びをしていていた6年生の姿…。いつでもどこでもとっても心優しい6年生だったからこそ、6年生を送り会も温かで感動的な時間となりました。今年の「6年生を送る会」も、笑顔で幕が開き、涙で幕を降ろしました。

みんなから「ありがとう」と言われる姿を示し続けた6年生と「ありがとう」を言える素直な心の在校生を、うれしく感じました。いろんな思いが交錯していたはずのこの日も、感謝の気持ちを伝えてたいと、体育館で素晴らしい会を開いた子ども達を誇りに感じました。



2月20日の職員室に届いた、6年生が家庭科で職員への感謝の気持ちを込めて作ったデザート。心がこもった6年生らしいメッセージカードも添えてありました。とってもおいしいデザートでした。



この可愛い種小っ子とまだもう少し会える日が続くはずでしたが、今日を含めてあと3回しか会えない事となりました。このわずかに残された日々、今からできることとしなければいけないことを見極め、私たち教職員も種小っ子のこの1年の頑張りを称え、進級と進学に幸多い事を願いながら、子どもと一緒に残りの日々を送っていきます。